

令和3年3月22日

(宛先) 湖西市議会議員

湖西市議会議員

氏名 高柳 達弥

### 政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和2年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000 円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費		
研修費	47,010	交通費、参加費 他
資料作成費		
資料購入費	42,990	月刊誌、情報検索サービス代
合計	90,000	

3 残額 30,000 円



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 高柳 達弥

会計年度	令和2年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		18,736 円			
枝号	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 ( 円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
1	令和2年 5月15日	資料 購入費	(株)日経BPマー ケティング	18,736円	●資料名 日経グローバル
		その他 ( )		円	
支出目的	地域経営のための専門情報誌として広く経営情報を収集し議員としての資 質向上の参考資料とするため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。






※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との  
関連性を記入。



令和2年度 日経グローバル共同購入者一覧

株式会社 日経BPマーケティング発行「日経グローバル」を下記の議員で共同購入し、費用は各議員が均等に負担します。

令和2年 5月 15日

	議員名	押印	金額	備考
1	馬場 衛		18,500 円	
2	竹内 祐子		18,500 円	
3	吉田 建二		18,500 円	
4	高柳 達弥		18,736 円	領収書等 原本保管
5	三上 元		18,500 円	

1人あたりの金額：(年間購読料 92,400 円 + 振込手数料 336 円) ÷ 5 人

＝ 18,500 円 × 4 人

＋ 18,736 円 × 1 人 (代表取扱者、端数処理)

振替払込請求書兼受領証

株式会社 日経BPマーケティング

千 百 十 万 千 百 十 円

9 2 4 0 0

湖西市役所 議会事務局 様

請求コード

336

02-05-15  
新所郵便局

(23051)  
N94160009

この受領証は大切に、保管してください。

振替払込請求書兼受領証

株式会社 日経BPマーケティング

千 百 十 万 千 百 十 円

9 2 4 0 0

湖西市役所 議会事務局 様

請求コード

336

02-05-15  
新所郵便局

(23051)  
N94160009

この受領証は大切に、保管してください。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 高柳 達弥

会計年度	令和2年度	支出番号	2		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		19,800 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 ( 円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
1	令和2年 6月22日	資料 購入費	第一法規(株)	19,800円	●資料名 議員NAVI Plus
		その他 ( )		円	
支出目的		法改正アラート、法律改正、情報検索サービス、ウェブマガジン等により 市政情報収集のため。			
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との  
関連性を記入。



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 高柳 達弥



会計年度	令和2年度	支出番号	3		
項目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		47,010 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和2年 7月8日	交通費	JR東海	17,010円	●旅費内訳書との差額 ( 530 円) 理由は下記備考に記載
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
2	令和2年 7月10日	参加 負担金	地方議員研究会	30,000円	●参加負担金 30,000円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ( )		円	
支出目的	コロナと自治体財政・財政収支の分析等のセミナー受講料・旅費				
備 考	領収書17,220円のうち、17,010円請求。(復路のぞみ席料金210円自己負担) 往路：乗車券4,840円+指定席4,140円-のぞみ席料金210円=8,770円 復路：乗車券4,840円+自由席3,400円=8,240円 JRへの乗車券は現金で支払った。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。  
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。



# 領収証

2020年7月10日

高柳達弥 様

★ ¥30,000

15: 7/10 16:00 ~ 「投票状況 財政状況」

7/10 14:00 ~ 「投票状況 財政情報」

研究会受取票代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒582-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL.06 (7878) 6297



⑤

収No 1310

領収書 No 102

領収書

高柳達弥

金額

¥17,220円

「消費税込み」

但し、乗車券類(クジック)取扱いとして

2020年7月9日  
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告書  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

取寄

現金出納簿



収No 1310

領収書 No 102

領収書

高柳達弥

金額

¥17,220円

「消費税込み」

但し、乗車券類(クジック)取扱いとして

2020年7月8日  
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告書  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

取寄

現金出納簿



旅費内訳書

出張先： 新大阪丸ビル別館

出張日： 7月10日

出張者： 高柳 達弥

区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考		
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	⇨	新大阪	276.0	4,840	
			新大阪	⇨	鷺津	276.0	4,840	
				⇨				
		新幹線 特急等	豊橋	⇨	新大阪	259.0	3,930	指定席(通常期)
			新大阪	⇨	豊橋	269.0	3,930	指定席(通常期)
				⇨				
	線	普通		⇨				
				⇨				
	小計					17,540		
	代			⇨				
代			⇨					
小計					17,540 円			
宿泊料			泊		円			
			泊		円			
合計					17,540 円			

行程略図

7月10日  
 鷺津  
 ○ 東海道本線  
 豊橋  
 ○ 東海道新幹線  
 新大阪  
 ○  
 <セミナー参加>  
 新大阪丸ビル別館  
 ○  
 新大阪  
 ○ 東海道新幹線  
 豊橋  
 ○ 東海道本線  
 鷺津

	議長	副議長	局長	次長	係長	係	
	●	●	●	●	●	●	●

様式第9号(第7条関係)

令和2年7月14日

湖西市議会議員

氏名 高柳 満弥

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和2年7月10日(金)
場 所	於 新大阪丸ビル別館
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体財政特別講座 「コロナと自治体財政・財政収支の分析」</li> <li>・決算状況(財政指標) 「財政力指数と経常収支比率」</li> </ul>
目 的 (市政との関連性)	<p>地方議員研究会主催により決算状況に於ける財政収支・財政指標の読み取り方法や財政分析について学び本市の財政政策や財政運営等経営状況をより深く知ることにより健全財政維持のために、議員として市財政全般を理解しより良い市民サービスが提供できるようこの機会に学んだことを決算審査等議会活動に生かしていくため。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ対策の現況と自治体財政             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策関係補正予算の概要</li> </ul> </li> <li>○財政収支の分析指標のパターン             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実質単年度収支と実質収支の相関及び財政調整基金について</li> </ul> </li> <li>○財政力指数と経常収支比率の見方・考え方             <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政健全状況の判断指標の捉え方と財政運営</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 市財政の、収支の状況・性質別、目的別歳出や各種財政指標を的確に把握し、収支バランスの取れた財政運営を実行していくこと</p>

は大変重要であります。この為の自治体財政特別講座は、財政力にあった行財政運営を行う上で大変有意義な研修でありました。以下、研修詳細を記し報告とする。

## 報告詳細

・新型コロナウイルス感染症対策関係経費は、国の1次補正予算では2兆5千6百億円で地方創生臨時交付金1兆円、全国民に1兆3千億円の給付金、GIGAスクール構想、GOTOキャンペーン事業その他予備費が1兆5千億円の対策予算が措置された。また、第2次補正予算では、3兆2千億円が計上され主なものは中小大規模事業者の資金繰り対応強化に1兆1千6百億、家賃支援給付、医療提供体制強化等にそれぞれ2兆円、地方創生臨時交付金の拡充2兆円、持続化給付金の対応強化それから予備費として1兆円の追加補正がされた。

・平成30年度 赤字財政団体の状況

市町村・・・単年度収支 900 団体 52.4% ・実質単年度収支 1,027 団体 59.8%  
(▲602 億 6 千 4 百万円) (▲1,890 億 6 千 3 百万円)

・地方財政に於ける基金残高のウエイトの推進

平成20年度 財政調整基金3.4兆、減債基金1.7兆、特定目的基金7.0兆、計12.1兆円  
平成30年度 財政調整基金6.0兆、減債基金2.4兆、特定目的基金9.0兆、計17.4兆円  
\*財政調整基金及び特定目的基金は、財政における基金残高のウエイトが年々上がっている。約30% 基金残高増加の要因は、財政調整基金では制度的要因(合併)、特定目的基金では制度的要因(国の施策)であると捉えている。

参・湖西市30年度末 財政調整基金現在高 29 億 5 百 263 千円

・地方財政において、基金残高の増加は臨時財政対策債残高を増やししながら基金も積み増している自治体 551 自治体 (全体の70%) による。

財務省は、これらの実態に対し地方交付税交付金での調整を検討している。

・財政収支の分析

(新潟市)・・・政令指定都市に移行し「大きな区役所」区への予算配分重視、区提案予算、区自治協議会、地域コミュニティ協議会などの体制により区中心の行政運営となり意思決定の迅速性、予算配分執行など区中心の財政運営では全体的な予算決算における収支均衡等見えぬくくの的確な財政運営に問題があると思った。

・目的別歳出・・・民生費比率が高く年々増加傾向にある中で土木費も高い水準で一定に推移している状況にある。ほかの費目どれも低位で推移、目的別の歳出項目見直し要検討

比較(浜松市)・・・目的別歳出・・・民生費増額にともない土木費を漸減し他費目との調整が図られている。

・湖西市30年度・・・目的別歳出は、民生費比率30.2% 衛生費16.0% 土木費11.1%

・性質別歳出・・・新潟市は、扶助費が年々増加してはるなか投資的経費も増額し扶助費を上回

る年度もあり公債費も上昇している。浜松市は、扶助費の上昇と連動し投資的経費を減少させ収支バランスを取っている。

・湖西市 30 年度…性質別歳出は、扶助費比率 17.0% 投資的経費比率 9.6%

・実質収支および実質単年度収支・・・以上により新潟市は実質収支が 0 になっていながら実質単年度収支では財政調整基金の大幅な取り崩しで赤字となり財源不足の発生となる。浜松市は、実質単年度収支は毎年度マイナス・プラスの繰り返し推移均衡を図っている。

・実質収支は黒字であるがしかし、基金の一般会計への繰入を除く実質単年度収支はどうか、赤字であるかの確認「実質単年度収支は、黒字と赤字を繰り返す。」

・湖西市 30 年度 実質収支 13 億 6,4583 千円 単年度収支 19,113 千円 積立金 269 千円  
積立金取崩し額 6 億 3,000 千円 実質単年度収支▲6 億 1,618 千円

・財政力指数別団体数 平成 28・29・30 年度 3 日年平均値

	0.30 未満	0.30 以上 0.50 未満	0.50 以上 1.00 未満	1.00 以上	合計
・市町村数	482	455	698	83	1,718
・財政力指数	28.1%	26.5%	40.6%	4.8%	100%
・財政力指数平均	0.51	(財政力指数は税収力の大きさをあらわす。)			

・湖西市財政力指数 1.03

・基準財政収入額は、税収額の 75%、税収の 25%は留保財源として一般財源の増加分したがって、一般財源の増加分として財政力は高いほど良く余裕がある。

・経常収支比率・・・義務的性格の強い経常的経費に地方税、地方交付税等の経常一般財源収入がどの程度使われているかをみる指標。

・経常収支比率の全市町村合計割合

70%未満 0.6%、70%以上 80%未満 4.8%、80%以上 90%未満 36.1%、  
90%以上 100%未満 55.4%、100%以上 3.0%、「湖西市…86.5%」

・財政の健全化指標

①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率等は  
財政の再生指標、財政健全化基準となっている。

・湖西市財政健全化判断比率 実質公債費比率 5.6% 将来負担比率 20.1% (30 年度)

” 6.4% ” 25.8% (29 年度)

・湖西市積立金現在高 財調 29 億 5 百 263 千円 (30 年度) 26 億 94,994 千円 (29 年度)  
減債 1 億 34,535 千円

特定目的 17 億 9 百 736 千円 (30 年度) 17 億 5 百 4039 千円 (29 年度)

・湖西市地方債現在高 165 億 42,692 千円 (30 年度) 174 億 15,659 千円 (29 年度)

\*以上、湖西市の財政状況と自治体財政の状況を比較考量することができた。

今後、湖西市財政の持続可能な状況を見守り健全化への思索を巡らせていきたい。

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 高柳 達弥

会計年度	令和2年度		支出番号	4	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			4,454 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 ( 円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
1	令和2年 7月15日	資料 購入費	(株)中央文化社	4,454円	●資料名「地方議 会人」9,972円のうち 4,454円のみ請求する。
		その他 ( )		円	
支出目的	議員研修誌として国、地方議会の状況、議会活動資料、施策立案の参考資料として活用するため。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

写

振替払込請求書兼受領証

振替払込番号 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		振替払込日 XXXX/XX/XX	
株式会社 中央文化社			
金額	千	百	円
	9	9	72
C732 高柳 透弥 様			
ご依頼人 株式会社 中央文化社			
住所		E 附 印	
〒160-0001 東京都千代田区千代田		02-07-15 湖西郵便局	
支店		(23128) 394230008	

記載事項を訂正した場合は、その箇所には印を押してください。

この表の裏面に、大抵の請求書が記載されています。

振替払込請求書兼受領証

振替払込番号 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		振替払込日 XXXX/XX/XX	
株式会社 中央文化社			
金額	千	百	円
	9	9	72
C732 高柳 透弥 様			
ご依頼人 株式会社 中央文化社			
住所		E 附 印	
〒160-0001 東京都千代田区千代田		02-07-15 湖西郵便局	
支店		(23128) N94230008	

記載事項を訂正した場合は、その箇所には印を押してください。

この表の裏面に、大抵の請求書が記載されています。

請求書

No. [Redacted]

令和 2 年 7 月 15 日

高柳 蓮弥 殿

下記の通り御請求申し上げます

¥9972

株式会社 中央文化社

代表取締役 大塚 昭彦

東京都千代田区一発町25番地

金区町村職員会館

電話 03(3264)2451

FAX 03(3264)2867

郵便振替 [Redacted]

取引銀行 [Redacted]

当座番号 [Redacted]

口座名 [Redacted]

品名	数量	単価	金額
地方議会入。購読料	12	831	9972
令和2年4月~令和3年3月			
			合計¥9972

※ ご購読中止のご連絡がない場合は、従来通りご送付させていただきますので、

中止の場合は、必ずご連絡くださいますようお願いいたします。